

# 帯広東ロータリークラブ会報



2014-2015 年度  
帯広東ロータリークラブ  
会長 西田 重人  
幹事 深澤佳世子  
メディア委員長 加藤雄樹

## 「和気藹々」

### 第1465回例会

平成27年3月17日(火) 於 アパホテル帯広駅前



■創立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30  
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：アパホテル帯広駅前

2014-2015 年度  
国際ロータリーテーマ  
【ロータリーに輝きを】

2014-2015 年度国際ロータリー会長  
ゲイリーC.K.ホアン

ガバナーテーマ  
【誠心誠意】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー  
奥 周 盛

- ◎起立 齊藤副 S A A
- ◎友情の握手 齊藤副 S A A
- ◎点鐘 西田会長
- ◎開会宣言 齊藤副 S A A
- ◎ロータリーソング
- ◎それこそロータリー
- ◎ゲスト紹介 西田会長
- ◎会食



これに加えて、ご承知の通り、かの福島第一原発のメルトダウンの処理はいつ終わるともわからない戦いを続けており、近隣の人々は先祖伝来の土地を追われたままである。この原発事故は地震が引き金になっているとはいえ、完全なる人災であり、戦後の原発推進政策を直接ではないにしろ支持をしてきた我々国民全員で引き受けなければいけない。事故、病気など突然、人間は、個々別々に人生が大転換することはよくあることであるが、しかし、こう大規模に多くの人が同じ時に影響を受けるのはそう多くはないだろう。

この震災、原発事故は必ずや私達の糧にしなければいけない。私達は好むと好まざるとにかかわらず、この日本列島に生まれ働き、ものを食べ、笑い、泣き、人生を送っている。遙か1,149年前、平安時代の初期に同じ所で同じような規模の地震と津波が起きていた。これが私達の国であり、故郷なのである。それはもう、受け入れるしかあるまい。

#### 会務報告

深澤幹事

①帯広東RC、3/31は休会です。



#### 会長挨拶

西田会長



2011年3月11日、あれからまる4年がすぎました。11日と言う日をみな様も色々な思いを持って迎えられたことと思います。丁度あの日のあの時、僕と同じように偶然にもテレビに映し出された、あの場面を見てしまった方々もおられることでしょう。

NHKによれば死者1万5,891人、行方不明者は2,584人。いわゆる震災関連死3,200人。計、2万人を超えています。改めてお亡くなりになられた方々に哀悼を表したいと思います。この2万人という数字は阪神淡路大震災よりもむろん多く、まさに未曾有の大災害といってよいのであろう。また、

#### ニコニコ献金

越浦親睦活動委員

- 西田会長 ニコニコ献金もうひと押しです。5月が問題です。例会場での例会が一度しかありません。何卒早い段階で達成したいものです。ご協力よろしくお祈りします。
- 深澤幹事 今日はコート無です。春は何か微笑んでしまいます。
- 大塚会員 遅くなりましたが、2/27・3/2の大雪の合間をねらい、3/1に十勝大平原クロスカントリースキー大会、無事終わりました。



- 石川会員 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございます。
- 高田会員 3月10日、米山奨学生のイ・スンヨンさんの歓送会を会長・幹事・米山委員長等6名で行いました。1年間のご協力ありがとうございました。
- 上野会員 “3.11わすれませんシンポジウム”無事終わりました。アクトの協力をいただきました。ありがとうございました。
- 城戸会員 最近、中々出席できませんでした。すみません。ニコニコします。

## 出席報告

高田委員長

2月は4回の例会がありまして、トータルで62%の出席率です。3月に入りまして森田会員が退会したことに伴い、出席計算上の会員数が40名となります。3月3日はホームクラブ出席者18名、3月14日のIMは26名の出席です。



## プログラム 青少年奉仕・ローターアクト委員会 城戸委員長



帯広ローターアクトクラブ 会長  
鈴木 彩乃様

【上半期活動報告と次年度役員紹介】  
副会長(次年度会長)

道見 賢人様  
幹事 小峯 洵也様  
(次年度幹事) 曾根 啓介様

### 上半期の活動

まず一つ目は、専門知識開発委員会担当の「ランチェスター戦略(弱者の法則)」という例会プログラムです。

このプログラムは会員増強を会員全員で考えるということを目的として行いました。ランチェスター戦略で定義されている弱者の法則をアクトの会員増強というテーマに置き換えてグループディスカッションを行いました。今年度は一般の方に対して、アクトの活動を知っていただくプログラムを多数用意しているので、その時にどのようなことを実践できるかをディスカッションすることで会員増強への意識を高めることができました。

次は、国際奉仕委員会担当の「おもてなし・日本の接遇」というプログラムです。このプログラムはマナーを勉強することで、今後の例会等

でゲストをお呼びする際に役立てることを目的に行いました。内容は、講師をお招きし、挨拶や身だしなみ等のマナーについてお話をいただきました。



続きまして、社会奉仕担当の救命救急です。このプログラムは、帯広消防署・予防普及課の佐藤様を講師としてお招きし、実際、目の前で事故が起きてしまった時に、どのような対応をすれば良いかを実践形式で講習をしていただきました。講習を通じて救命救急の大切さを強く感じる事が出来た例会となりました。

次は、国際奉仕委員会が担当の「ゲット・フィジカル・アクティビティ」です。このプログラムではスポーツを通じて国際交流を図ることを目的として、帯広畜産大学の留学生や米山奨学生をゲストとしてお呼びし、ミニバレー大会を行いました。ニックネームで呼び合う等の親睦ルールを設け、積極的に交流を図りました。

社会奉仕委員会担当の「つくし会・クリスマスパーティー」というプログラムでは、「帯広市つくし会」という“ひとり親家庭”の会員で構成されている団体がありまして、その団体で毎年開催されるクリスマスパーティーのお手伝いをさせていただきました。今年もローターアクトクラブは、パーティーの中の親睦ゲームを担当し、クリスマス気分を盛り上げました。

そして、専門知識開発委員会担当の「他人から見たあなた(他己紹介)」というプログラムを行いました。周りからのイメージを分析・紹介してもらうことで新たな自分を再発見することを目的としました。自分が思っているイメージと違う結果がでたことが新鮮で楽しい例会となりました。

最後は、社会奉仕委員会担当の氷祭り例会です。2月上旬に実施されました「帯広市氷祭り・市民冰雪像コンクール」に参加しました。毎年会員だけで作成していましたが、今年は一般の方々も誘って楽しみながらアクトの活動を知ってもらいました。その成果として過去最高の「帯広市開発建設部長賞」をいただくことができました。

## 次週のプログラム

「ゲスト卓話」 職業奉仕委員会  
(社)帯広観光コンベンション協会  
専務理事 鈴木新一様  
【十勝の観光と物産の取組について】

